

# イブニング サロンNEWS

イブニングサロン公式サイト  
[http://www.otacci.or.jp/  
commons/evening.htm](http://www.otacci.or.jp/commons/evening.htm)

発行  
「イブニングサロンNEWS」を発行する会  
(事務局・東方通信社)  
TEL:03-3518-8844

## 身近で重要な「エレクトロニクス」 をテーマに技術アピール!!

9月1日、「新都心イブニングサロン」は11回目を迎える。参加者も150名を超え、参加地域もますます広域に。参加者の多くは、最後の交流会とこの技術アピールを楽しみにしている。今回は、すでに私たちの生活に欠かせない「エレクトロニクス技術」をテーマに、テクノスコープ(埼玉県さいたま市)、ワコム(埼玉県大利根町)、早稲田大学(東京都)が発表する。国内でも有数の技術に注目してほしい。

### 培ってきた実績と熱意で邁進する 技術家集団の底力!!

#### (株) テクノスコープ

「ウチは典型的な技術屋集団。おもしろいと感じたものには、のめりこんで開発してしまう」とはテクノスコープの白川進社長。その代表的なのが「IEEE1394規格」製品。IEEE1394規格とは、パソコンとデジタル機器(デジタルカメラ、デジタルビデオ、携帯音楽プレーヤーなど)を接続するときの国際標準規格で、同社では95年に策定された直後から開発に取り組んできた。以来、産業用途での採用実績は15000台を超え、24時間365日稼働に耐え得る屈指の安定性を誇る。



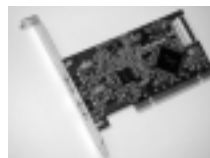
技術に武器に邁進する白川進社長

同社の技術力は、あのアップル・コンピュータ

タ社が、すでに17年前にデベロッパに認定していたほどの高さで、「キャリア20年以上のベテランたちを中心に、電子回路設計とソフトウェア開発を一貫して行えるのがウチの強み」と白川社長は話す。

現在では、業務用だけでなく一般向け製品も開発。そのひとつが、マッキントッシュ用コンピュータセキュリティ機器の「Zenkey」。これをUSBポートに差し込むとロックが解除され、抜くとロックがかかるように設定できる。安価で確実なセキュリティとして、マックユーザーからウケている。

また、特定目的でコンピュータを組み込んでいる「組み込み機器」(デジタルカメラ、テレビなど多数)の開発にも長年の実績があり、ユビキタス社会



IEEE1394準拠の拡張ボード



Mac用セキュリティ機器の「Zenkey」

の到来です。ますます重要になってくる映像、画像、音声などのデータ通信端末の開発にも自信をのぞかせると、「これまで蓄積した多くの技術を融合させて、世の中にニーズにあった新製品を素早く商品化していきたい。また、イブニングサロンに参加している魅力的な企業や大学と連携できる機会も模索していきたい」と白川社長。連携によって新たなイノベーションが生まれるか、期待したいところだ。

〒330 0064

埼玉県さいたま市浦和区岸町7 6 13

TEL048 8222 5281

<http://www.technoscope.co.jp>

# ペンタブレット開発で大躍進 埼玉発世界企業の底力!!

## (株)ワコム

絵や文字をペンでコンピュータ入力できる「ペンタブレット」を開発するワコム(埼玉県大里根町)。同社のペンタブレットは世界中に普及しており、そのシェアは80%を超えている。実はコレ、84年、同社が世界ではじめて開発に成功した製品。「当時、先進的な技術に注目していたアーティストたちがこぞって作品づくりに導入し、一気に広まった」(広報部)という。今では、「ビギナー用から」『FAVO』(注)など(プロ用)『Intuos3』(注)まで、あらゆる人が利用できるようにラインナップを充実させている。

同社のペンタブレットは、映画やアニメのCG制作、天気図作成などのほか、警察署や消防署のコールセンターでは電話の内容を入力するときに、病院では電子カルテ作成に、クイズ番組



ビギナー用のペンタブレット『FAVO』

では回答を入力するときなど、あらゆるところで使われている。ハリウッドでも大活躍しており、ディズニードリームワークスなどのフルCGアニメの制作には欠かせない存在になっているという。

技術開発担当取締役の山本定雄氏はペンタブレットの最大の利点について「子どもや年配者、コンピュータに詳しくない人でも使いこなせるため、世間の情報格差(デジタルデバイド)を埋められること」と話す。これからのIT社会の必須アイテムといえそう



ワコムの山田正彦社長

〒349 1148  
埼玉県北埼玉郡大里根町豊野台  
TEL 0480 78 1211  
<http://www.wacom.co.jp>

# 小型で大容量を目指す 注目のデバイス技術!!

## 戸川望助教授

10年以上前、本体がカバンのような大きさだった携帯電話は、技術革新によって急速に軽量・縮小化し、現在では手のひらに収まるサイズになった。この小さな本体に、ネット機能やテレビ機能まで付き、進化しつづけているのは驚異なことである。この携帯電話や情報機器の進化を支えていく技術として、今注目されている技術が、システム・オン・チップ(SoC)。大容量のシステムを1チップ上に搭載させ、処理速度をより速く、より小型化させるデバイス技術である。

SoC設計を研究している戸川望助稲田大学助教授によると、「重要なのはハードウェア(HW)とソフトウェア(SW)の組み合わせ」という。「HW」は処理を実行する専用器のことで、



戸川研究室の風景

「SW」は単純作業を実行する仕組みのこと。HWに工夫すれば面積を犠牲にすることで高速化でき、SWに工夫すれば処理時間を犠牲にして小型化することもできる。このように、それぞれの性質をつまみ合わせることによって、さまざまなSoCやプロセッサを構成していく。この作業を自動的に行うように設計することで、高速化・大容量化を実現するという。

現在、戸川助教授は、企業との共同研究を展開中。この技術が活躍する日は近いかもしれない。



戸川助教授の研究が新しいノバージョンを生む

〒169 8555  
東京都新宿区大久保3 4 1  
TEL 03 5286 3908  
<http://www.togawa.cs.waseda.ac.jp/>

# ユニークせんべいから左右専用靴下まで モノづくりの達人たち

埼玉大学

創刊号に引き続き、これまでイブニングサロンで自慢の技術をPRした経営者、技術者、研究者たちを紹介。バーチャル・リアリティやセラミックス、トレーサビリティを実施したおせんべいや左右専用ソックスなど、オンリーワンのニッチ技術を近況をまじえて大紹介したい。

今後もし引き続き、プレゼンターたちを紹介していきます。ご期待ください。

## さまざまなセラミックス研究を展開

埼玉大学工学部 小林秀彦氏



<04年11月19日 第3回発表>

高機能なセラミックス材料を生成するとき直面する問題を解決する「セラミックプロセス」などを研究。気相法、液相法、固相法など従来のセラミック粉末の合成法を発展させ、活性金属を用いた炭化物・窒化物の低温合成、ゾル・ゲル法を用いた高温構造材料（ジルコンなど）合成、低熱膨張材料（ポルサイトなど）合成などに成功している。その他、固体電解質やゼロ熱膨張セラミックスの研究も進めており、それぞれの成果が目まぐるしく発表されている。

その他、固体電解質やゼロ熱膨張セラミックスの研究も進めており、それぞれの成果が目まぐるしく発表されている。

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255  
http://souran2.saitama-u.ac.jp/  
Profiles/0006/0000449/profile.html

## モノづくりを支える強力ツールを開発

株式会社浅沼技研 代表取締役 浅沼進氏



<05年12月16日 第8回発表>

製造業等で使われる3次元測定機は、温度や湿度などの作業環境や作業者のレベルによって、誤差が生じ、不良品をつくってしまう原因となっていた。この問題を解決するために浅沼技研では「クオリティマスター」を開発し、3次元測定機の精度や誤差の測定、異常の発見などをできるようにした。この製品は浜松地域ブランド「やらまいか浜松」に認定され、大きな注目を集めている。

〒431-1103 静岡県浜松市湖東町4079-1  
TEL: 053-486-1110  
http://www.asanuma-g.jp/

クオリティマスター

## 自然な履き心地の左右専用ソックス

武田レッグウェア株式会社 代表取締役 武田進氏



<06年3月24日 第9回発表>

靴下づくり50年以上の武田進社長は「靴やスリッパのように、左右専用の靴下はつくれないものか」と、思い続けていた。左右同じ形状の靴下では、足に負担がかかってしまうからだ。そうして生まれたのが、右足・左足専用の「R×L Socks」。これなら足が自然な状態で保たれるので、血流がよくなり履き心地がバツグンに。外反母趾など足の病気にも効果的なソックスだ。



履き心地バツグンの「R×L Socks」

〒354-0011 埼玉県富士見市水子4933  
TEL: 049-255-5557 http://www.bigtoe-takeda.com/

## 皮膚感覚を擬似体感できる"未来の技術"

埼玉大学工学部 高崎正也氏



<05年9月12日 第7回発表>

遠隔で体験した皮膚感覚を再現できるバーチャルリアリティのデバイス研究が高橋氏のテーマ。固体表面を指でなぞったとき、3次元形状測定によって粗さや微細模様がパラメータ変換され、弾性表面波を用いて伝搬させることで、擬似的な皮膚感覚を得ることができるといふ。ロボット等の遠隔操作の補助や視覚に頼らないコンピュータ入出力など、"未来の技術"として期待されている。



〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

TEL: 048-858-3451

弾性表面波皮膚感覚ディスプレイの基本概要

## 大切な自転車を守るリモコンキー

ニューロン株式会社 代表取締役 岩井久孝氏



<05年12月16日 第8回発表>

電子機器やセンサーを製造する同社が力を入れているのが「リモコンロックCoCo」。自動車のキーのような遠隔開錠を自転車でも使えるリモコンキーだ。キーを自転車に取り付け、3m以内でリモコンを押せば、赤いランプが点灯し、「ピー」というアラーム音が鳴って開錠する。これなら夜でも自転車の置き場所がわかる。わずか4980円で自転車のセキュリティが格段にアップするスグレモノだ。

〒431-2103 静岡県浜松市新都田1-4-10-3 TEL: 053-428-8756

http://www.neuron-kk.co.jp/

リモコンロック CoCo

## 社員全員が活躍できる職場環境で躍進中

三州製菓株式会社 代表取締役社長 育之平伸一氏



<06年3月24日 第9回発表>

競争の激しい米菓業界で躍進を続ける三州製菓。その秘ミツは独自のビジネスモデルにある。業界初のトレーサビリティを導入。素材からパッケージまで管理し、安心、安全な商品を提供する。現在では、顧客の注文に応じてせんべいの表面に画像や文字を入れる「メッセージ入りせんべい」の発売に力を入れている。天然色素を使用してメッセージを書くというとてもユニークなせんべいだ。



〒344-0014 埼玉県春日部市豊野町2-8-3  
TEL: 048-735-1151

http://www.sanshu.com/

天然色素でメッセージが入れられるせんべい

その他のプレゼンターたち

第1回(2004年6月26日) 富士写真光機 本多康夫氏、埼玉大学理工学研究所 門野博史氏/第2回(2004年9月3日) 株式会社ラバー 伊藤謙氏、埼玉大学工学部 時田澄男氏/第3回(2004年11月19日) 株式会社住田光学ガラス 住田正利氏/第4回(2005年2月4日) サイエンス 梶原克己氏、埼玉大学理学部 定家義人氏/第5回(2005年4月22日) 埼玉大学工学部 久野義徳氏、株式会社メトラン 新田一福氏/第6回(2005年6月23日) 北光金属 斎藤宏通氏、群馬大学工学部 荘司郁夫氏/第7回(2005年9月12日) 新日本機械工業 増田文治氏、テックコンサルティング 熊本 小坂光二氏/第8回(2005年12月16日) 日本工業大学 村川正夫氏/第9回(2006年3月24日) 埼玉大学工学部 杉山和夫氏、時田CVDシステムズ 時田修二氏/第10回(2006年6月16日) 株式会社ネット 長谷川浩幸氏、株式会社ニクス精密 網田精輔氏、宇都宮大学工学部 進村武男氏

# 交流活発化でチャンスを掴むか

# 秩父イブニングサロン誕生!!

回を重ねることに参加人数が増えていったイブニングサロン。ついには、埼玉県秩父地域で初の地域版まで立ち上がった。

8月23日(水)、秩父地域でイブニングサロンの初版「秩父イブニングサロン」が立ち上がった。発起人のひとりである垣境精機(小鹿野町)の垣境正男社長(西秩父商工会工業部会会長を兼務)は「イブニングサロンの活気を少しでも秩父地域に呼び込みたいと思い、立ち上げました。まずは秩父企業同士の交流を活発にして、ゆくゆくはいろんな地域の企業や大学とも交流していきたい」と話した。

シリコンウエハ開発の秩父電子(秩父市)や自動車部品や洗浄機等を開発する東洋パーツ(長瀬町)など、秩父地域には、高い技術力を誇る企業が集まっている。しかし、地理的

なマイナスマもあって、なかなか他地域との連携が進んでこなかった。この日、イブニングサロン世話人の(財)さいたま市産業創造財団の江田元之理事長、秩父みどりヶ丘工業団地に新工場を設立した東洋パーツの小菅一憲会長や地元の企業、埼玉県庁や小鹿野町の職員たち、また



秩父イブニングサロンに参加した皆さん

野火止製作所の川上順久社長のよう  
に他地域からの参加者あわせて約20  
名が交流した。また、参加はできな  
かったが、関口和夫小鹿野町町長も  
「秩父地域の活性化につながる」と期  
待のコメントを寄せている。

世話人の野長瀬裕一山形大教授は  
「イブニングサロンの立ち上げ時の気

持ちを思い出しました。また、子ど  
もが生まれたような気分です。今後の  
成長が楽しみです」と話している。  
観光に加えて、工業でも秩父が盛り  
上がってほしいものだ。

## 秩父で人工衛星による地域おこしがはじまる!?

東大阪の「職人人工衛星」、北海道の「道産子ロケット」など宇宙をテーマにした地域おこしが各地で行われている。そんななか、「秩父イブニングサロン」立ち上げで盛り上がる秩父地域でも、人工衛星による地域おこしの気運が高まっている。

秩父の地元企業が、月刊『コロンプス』06年2月号に掲載された「東大航空宇宙工学専攻・中須賀真一教授が空き缶に民生用の部品を搭載して、人工衛星を打ち上げた」という記事を読んでオドロキ、「これなら予算的にも技術的にも自分たちでできるのではないか」としだいに盛り上がっていった。加えて、秩父地域の吉田町では、天正年間(1570年)から「龍勢」と呼ばれる自作ロケットの伝統もあり、さらにヤル気に火がついた。

月刊『コロンプス』編集部がこの動きを中須賀教授に報告すると「大変うれいこと。最大限に協力したい」と話している。実のところ、人工衛星は、ハデな話題性とは対象的に、開発しても売り先がほとんどないためビジネスになりにくい。しかし、宇宙環境に適した部品を開発していく過程で、耐熱・耐振動・耐放射線・耐真空といった新技術の習得が期待できる。また、地域を團結させ、新しい目玉として人を呼びこむことも期待できる。

たとえば、8月19日(土)、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の多目的実験場がある秋田県能代市で「能代宇宙イベント」が行われ、宇宙関連の研究を行っている学生200人が集まり大盛況だった。こうしたイベントが秩父地域で行われたら、盛り上がるかもしれない。

垣境精機の垣境正男社長は「秩父イブニングサロンのひとつの目玉として、さっそく取り組んでいきたい。また、他地域の企業や大学、研究所とも連携していきたい」と話している。事務局を担当する予定の月刊『コロンプス』では、これまでさまざまな地域の宇宙関連企業を取材してきた。こうした企業と秩父企業が連携することで、新たな職人衛星が打ち上がるかもしれない。興味ある方は以下に連絡を。



吉田町の「龍勢」

e-mail : ryot@tohopress.com

## サロン公式サイトに ニュース創刊号をアップ

前回の第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」は、おかげさまで参加者の多くの方からご好評を得ました。引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思ひます。



サロン公式サイト

新商品や新技術の開発や産学連携事業の開始といった新情報からご意見・ご要望までふってお寄せください。

さて、創刊号は新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにアップされています。第2号以降もアップしていきますので、ご一読ください。

新都心イブニングサロン公式サイト  
http://www.otacci.or.jp/  
commons/evening.htm  
東方通信社サイト  
http://www.tohopress.com

問合せ：03-3518-8844 担当：滝口  
e-mail : ryot@tohopress.com

## 月刊『コロンプス』が 元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンプス』(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載インタビューコーナーのほか、地元の元気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)や野火止製作所(05年3月号)の川上社長など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。



『コロンプス』9月号

問合せ：東方通信社 月刊『コロンプス』  
編集部 TEL : 03-3518-8844

## イブニングサロンの主な世話人

江田元之(財)さいたま市産業創造財団・理事長/星野弘志 埼玉県産業労働部新産業育成課・課長/村重嘉文(財)埼玉りそな産業協力財団・顧問/野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授

## 主な企画運営委員

山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長/江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局長/古川猛 月刊『コロンプス』編集長(東方通信社)/根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長